



## 現存する日本最古のビヤホール「ビヤホールライオン銀座七丁目店」 4月8日で創建80周年を迎えます！

### ～ビヤホールで特別お祝いコンサートと噴水復活式を開催～

株式会社サッポロライオン（本社・東京、社長・刀根義明）が運営する、ビヤホールライオン銀座七丁目店は本年4月8日（火）で創建80周年を迎えます。これを記念しビヤホールライオン銀座七丁目店では、「80年を迎える感謝祭」として、誕生日である4月8日（火）にさまざまなイベントを開催します。

#### 【11:30～】ランチタイムは数量限定ローストビーフランチ販売

「ビヤホールライオン銀座七丁目店」で、約20年間毎日売り切れ御免の一番人気を誇るメニュー「ローストビーフ」を、この日に限りランチタイムでもお楽しみいただけます。

【数量限定】ローストビーフランチ 800円（税込）

#### 【14:00～】お客様全員に、その場であたるスピードくじ

14時以降ご来店のお客様全員に、「サッポロ生ビール（小）」または「おつまみ（ビヤホールウィナー）」「80周年記念オリジナルカレンダー」のいずれかがその場であたるスピードくじを配布します。

#### 【17:30～】夜は音楽とともに生ビールを楽しむ「特別お祝いコンサート」開催

創建80周年を祝う特別コンサートをビヤホールで開催します。17時半以降、約15分間の楽しいステージを複数回にわたりお届けします。軽快な音楽を聴きながら、生ビールと料理をお楽しみください。



店内でのコンサートのイメージです。音楽と生ビールが出会う、楽しい夜をお過ごしください。

#### 【19:00～】80年の感謝を込めて、社長とお客様の乾杯とカウンターの名脇役「噴水」復活式

19時からは、当社社長・刀根より創建80周年を迎えるにあたりこれまで多くのお客様に支えていただいたことへの感謝の気持ちを込めてご挨拶をさせていただくとともに、ご来店いただいたお客様と創建80周年を祝い、乾杯をさせていただきたいと思えます。ライオンの乾杯方式「ウォーッ！」の掛け声とともに店内のお客様全員が杯をかかげる光景は圧巻です。

お客様との乾杯風景  
(写真は昨年の創業祭)

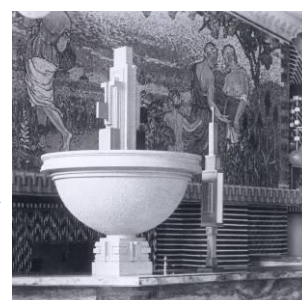


ビヤホールライオン銀座七丁目店といえば、正面の大型ガラスモザイク壁画が有名ですが、その両サイドにたたずむ対となる半円形オブジェ（噴水）も静かな存在感を放つ名脇役です。

以前は中央に立つ柱の側面を、水がつたい落ちる噴水でしたが、近年は使用していませんでした。この噴水の復活を求めるお客様からの声も多く、この創建80周年を記念し改めて噴水の復活式を開催します。

カウンター両脇に行む噴水

以上



この件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

報道関係の方	経営戦略部（西村 礼佳）TEL：03-6222-5183 / E-mail：kouhou@sapporo-lion.co.jp
一般の方	お客様相談センター TEL：0120-848-136

# ビヤホールライオン銀座七丁目店のご紹介

昭和9年4月8日創建



昭和9年竣工当時の様子

昭和9年4月8日、大日本麦酒(株)の本社ビルとして竣工した当ビルの1階にて、ビヤホールが開店しました。

ビル及びビヤホールの内装は、当時としては贅をつくし、工夫を凝らした造りとなっており、建築家を含め多くの人から絶大な賞賛を集めました。店内は「豊穡と収穫」をコンセプトに、大麦や葡萄をモチーフとした装飾が施され、誰もがゆったりと生ビールを楽しむ雰囲気となっています。

戦時中空襲により多くのビヤホールは焼失または疎開のため取り壊されましたが、当ビヤホールは空襲を免れ、昭和20年9月11日から**接收され進駐軍専用のビヤホール**となりました。昭和27年1月に**接收は解除され**、再度一般のお客様もご利用いただけるようになり、現在に至ります。



昭和20年代接收当時の様子

## ■内装コンセプトは「豊穡と収穫」

「天下一の建物に。後世まで残る日本を代表するビヤホールに」の想いを込められ作られた空間です。

「豊穡と収穫」がコンセプトのビヤホールには、その所々に豊かな実りを感じさせる大麦や葡萄がモチーフの装飾が施されています。店内に一步入ると、その歴史と風格を感じる雰囲気から「まるで教会のようだ」との感想をいただきます。



現在の店内の様子



店内正面の大型ガラスモザイク壁画には、ビール大麦を収穫する女性たちが描かれており、その中にはたわわに実った葡萄や、中央には愛や平和を象徴する「アカンサスの花」が描かれています。

カウンターの両脇には、静かに存在感を放つ噴水が据えられていますが、ビルの老朽化にともない近年は使用していませんでした。



店内の赤レンガの壁は「豊かな実りをはぐくむ大地」をイメージしています。またホールの左右に並ぶ緑のタイルと天井に伸びる矢じり型の装飾からなる太い柱は「大麦」を表現しています。



店内を照らすのは、ビールの泡をイメージした水玉模様の照明や、葡萄の房をモチーフにしたシャンデリアです。

厨房機器など一部は時代に合わせ改良されていますが、内装の殆どは創建当時の姿のまま残され、時代を超えて多くのお客様からご愛顧いただいています。